

令和3年度

仙台市児童生徒8万人の

いじめ防止「**きずな**」アクション

きみたちは
ずっと
なかま!



まもらいだー

開催記録



仙台市教育委員会

令和3年度

仙台市児童生徒 8万人のいじめ防止「きずな」アクション

開催要項

1 開催趣旨

本市では、児童生徒による自主的な取組を支援し、「いじめをしない・させない・許さない」という意識を高める事業として、平成27年度から全市一斉で「いじめ防止『きずな』キャンペーン」を実施している。令和元年度までは本キャンペーンの一環として、市立小中学校・中等教育学校の代表児童生徒が一堂に会する「いじめ防止『きずな』サミット」を開催し、いじめに対する課題を共有し、協議する場を設けてきた。そして、令和2年度はコロナ禍ということから、特に差別や偏見、さらには言葉によるいじめの未然防止を意識し、学校ごとに児童生徒が話し合う場を設け、各学校それぞれの特色を生かした「いじめ防止の行動目標」を設定する活動を行った。

今年度は、昨年度の取組をもとに、各学校において「いじめ防止の行動目標」を改めて確認し、児童生徒が自らを振り返り、いじめ防止のために自分の学級や学校で具体的にできることを話し合い、「いじめ防止『きずな』アクション」として実践することで、一人一人のいじめ防止についての意識をさらに高めることを目指した。

2 開催期間

令和3年11月の「いじめ防止『きずな』キャンペーン」期間中

3 参加者

仙台市立全小中学校、中等教育学校（前期課程）の児童生徒

4 令和3年度「いじめ防止『きずな』アクション」のねらい

各学校の行動目標やスローガン等をもとに、児童生徒が自分自身や学級・学校での生活を振り返り、全校で取り組む具体的な活動等を決め実践することで、いじめ防止の意識高揚を図る。

5 内容

各学級における話し合い活動及び活動の実践



小学校での授業の様子

どの学年も、市長のビデオメッセージを真剣に聴いている様子が印象的でした。3年生の授業では、昨年の行動目標「ふわふわ言葉を使って、友達と仲よくしよう」について自らの行動を振り返っていました。児童からは「ほぼできたけど、100パーセントではないよ。」などの発言があり、新たな課題意識が芽生えている様子が感じられました。先生から、「自分の行動を振り返ったら、これから取り組む『アクション』を考えよう。一人よりも、みんなでできることを考えていきましょう」との話があり、みんなで話し合いながら「アクション」について考えていました。



市長のメッセージを
しっかり聴きました！



自分自身の行動を
振り返りました。



昨年度の行動目標に沿って、
取り組んできたことを振り返りました。



振り返りをもとに、これから取り組む
「いじめ防止『きずな』アクション」を
考えました。



中学校の授業の様子

校内で取り組んでいるいじめ防止の行動について振り返りながら、生徒会執行部の生徒たちが「いじめ防止『きずな』アクション」に合わせて、何かできることはないだろうかと投げかけ、各学級で具体的な取組を考えることとしました。話合いで出てきた「アクション」は、各学級で実践に移すとともに、生徒会が各学級の話合い結果を集約し、特に良い取組は全校に展開していくことにしました。



学級委員が話合いをリードして進めました！



自分自身や学級の生活を振り返りました。



ディスタンスに気を付けながら話し合いました。

市立小学校・中学校・中等教育学校 184校の「いじめ防止『きずな』アクション」を市役所に掲示しました！



★ 市長メッセージ概要（中学校用から） ★

皆さん、中学校生活を楽しんでいますか？本当に、表面的ではなくて、心の底からアッハッハと笑えたときはありますか。「はい」と答えた皆さん。きっとラッキーです。ステキなお友達やステキな先生に恵まれています。

なんだか毎日、または時々、学校に行きたくない、行くと疲れる、友達とうまく話ができない、先生にうまく気持ちが伝えられないと思う皆さん。ガッカリしないでください。それは決して特別なことではありません。皆さんの年代に、私たち誰もが感じてきたことです。

私もかつては中学生でした。学校は楽しいと思えるときもあれば、家に帰ってきて、ただただ畳に突っ伏して寝てしまいたいと思うような日もあります。

あいつが嫌い、あの先生は分かってない、でも、あの友達とはおしゃべりして楽しかった、あの男子とは気持ちが通じてうれしかった、とか。毎日が、思うに任せないことで沈んだり、思いがけない感動にめぐり合ったりする連続です。中学生時代はそういうものです。辛いこともあるでしょうけれど、あるとき、パッと目の前の視界が開けるような、希望が垣間見える瞬間が訪れることもあるのだと信じてください。

中学生の皆さんは、この先自分がどのように大人になって、社会と関わっていくのか、そういった問いを受け止める時期にもあると思います。そうした中で、自分が進むべき道筋をなかなか描くことができず、悩みを深めることもあるでしょう。

私たち大人も、皆さんの悩みを解決する100%の答えを、必ずしも持っているわけではありません。けれども、一緒に考えることはできます。不安に押しつぶされそうな時には、どうか、声に出してみてください。その声は、皆さんより少し先に大人になった私たちが、しっかりと受け止めたいと思っています。

さまざまなハードルを乗り越え、たくましく伸びゆく、皆さんの成長を心から願っています。

